

## 令和3年度職員提案 採用提案一覧(公表用)

採用となった下記の提案を基に、今後所管課による検討を進めていきます。そのため、実際の運用は提案の内容とは異なる可能性があります。

| No. | 種類        | 件名             | 提案の概要   |
|-----|-----------|----------------|---|
| 1   | 緊急時対策     | 退職者の登録制度の創設    | 令和元年東日本台風では、マンパワー不足が対応の遅れにつながり、新型コロナウイルス対策でも多くの人員を必要としている。しかし、各部署では業務量に対して職員数に余裕がなく、機動的な対応ができない。<br>そこで、退職者を会計年度任用職員等として採用するための登録制度を創設することで、災害時等のマンパワーの補足、市民ニーズへの迅速な対応、業務経験者の知見の担保、時間外勤務の減少等につなげる。      |
| 2   | 内部        | 人事配置の仕組みの改善    | 繁忙期や突発的な業務が発生すると、係の人数と業務量の不一致が生じる場合がある。また、業務量が増加傾向の中、各課の裁量で柔軟に体制を変更できる仕組みとする必要がある。<br>そこで、人事課による人事配置の範囲を係長までとし、課長采配で自由に配置変更できるよう変更することで業務多忙時の職員負荷の平準化、課内職員の業務内容の理解促進による市民サービスの向上につなげる。                  |
| 3   | 窓口サービス    | らくらく窓口         | 市民が出生届や国保加入等の各種行政手続のため複数の窓口を訪れる場合、それぞれ名前や生年月日等の記載や必要書類の提出が求められ、市民にとって煩雑であるとともに、職員にとっても窓口での対応時間が増大する一因となっている。<br>そこで、最初の窓口で必要な情報を事前に各課に提供、必要書類に転記・出力(AI-RPA活用)することで市民の手書き時間、職員の業務時間の削減を図る。               |
| 4   | 窓口以外のサービス | 子どもに「ピッタリ」サービス | 子宝祝金は合計特殊出生率が2を下回っている中、第3子以降を対象にしていることや、単発給付により子育てに活かされているか把握できない、などの問題があり、出産の奨励や子育ての負担を軽減できる施策へ転換する必要がある。<br>そこで、子宝祝金を現物給付に変更するとともに、必要な家庭に訪問による相談を受ける仕組みを作ることで、直接的、継続的に子育てに寄り添い、子育て世代の経済的・精神的な負担軽減を図る。 |
| 5   | 窓口サービス    | 延長窓口の見直し       | 延長窓口実施に伴い、フレックス勤務により限られた人員の中では日中の業務に支障をきたし、時間外勤務を発生させることもある。また、課によって取扱件数に大きな差があり、一律での開設が適切ではないと考えられ、アフターコロナを見据え検討を進める必要がある。<br>そこで、対象事務の多くを取り扱う行政センターの開庁時間もしくは開庁日を変更して対応することで、延長窓口の代替策とする。              |